

FUJI COLLECTION
[擁壁シリーズ]

補強土壁

テールアルメFS [NETIS 登録 QS-170 031-A]

特 長

安全性を確保したまま
調査、措置が可能

壁内部異常の「見える化」
Fail Sensor 機能

安全性の維持
Fail Safe 機能

内部異常
のサイン



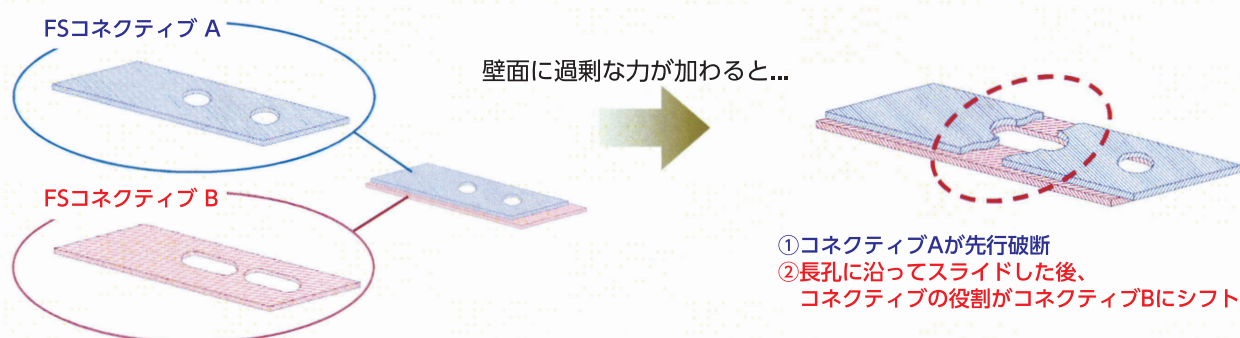
実物写真



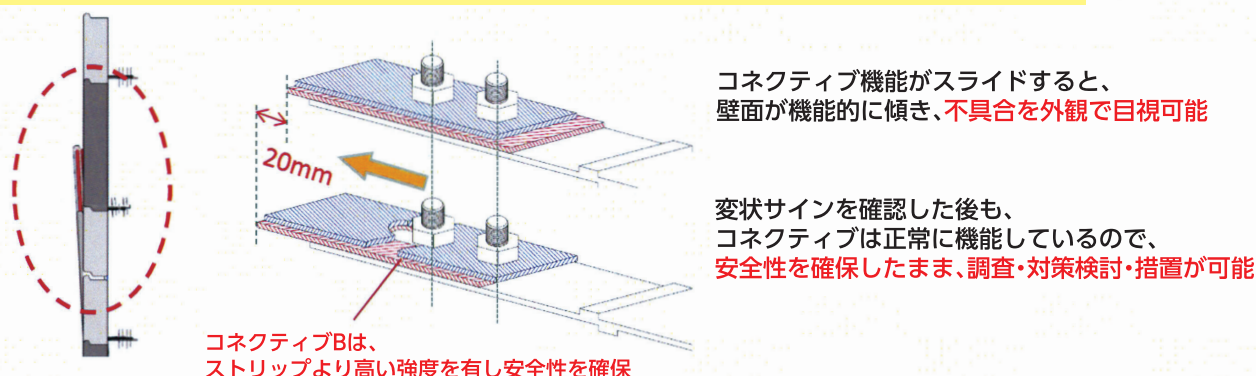
特徴

- ◆2つのFS機能（フェイルセーフ、フェイルセンサー）による維持管理
- ◆点検手法である目視確認に特化
- ◆FS機能で安全性を確保したまま調査・対策検討・措置が可能

◆安全性を維持するフェイルセーフ(Fail Safe)機能



◆内部異常を可視化するフェイルセンサー(Fail Sensor)機能



【補修の流れ、補修方法】

◆部分的な補修・交換が可能です◆

目視点検

- ・壁面の傾き及び変状サインを確認

周辺の壁面調査

- ・壁面全体を目視または測量にて調査
- ・盛土材料の採取

補修範囲及び方法の決定

- ・変状原因の特定
- ・補修範囲及び方法の選定

補修工着工

- ・壁面材交換及び打ち換え
- ・アンカー工による壁面材補強など

【コネクティブ部 再施工】



【壁面材 再施工】



パネルの取替えも簡単